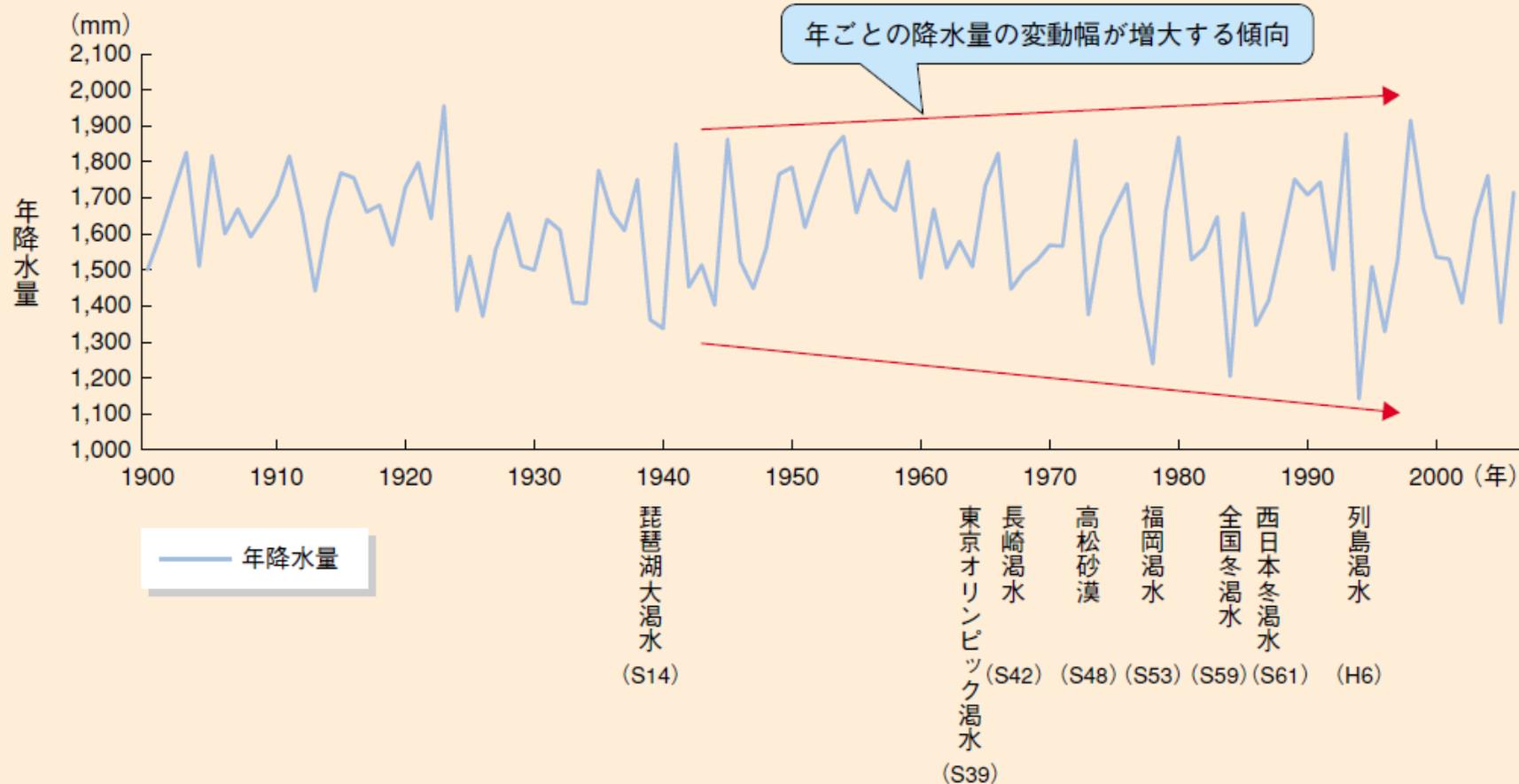


# 地球温暖化 ② 渇水危険性の増大

・降水量の増大とともに変動幅が増大。無降雨日も増加。

→ 渇水の危険性も増大

図表 I-1-2-8 年降水量の推移 (1900~2006年)



(注) 1 全国51地点の平均値

2 各年の観測地点数は、欠測等により必ずしも51地点ではない。

資料) 国土交通省気象庁資料より作成

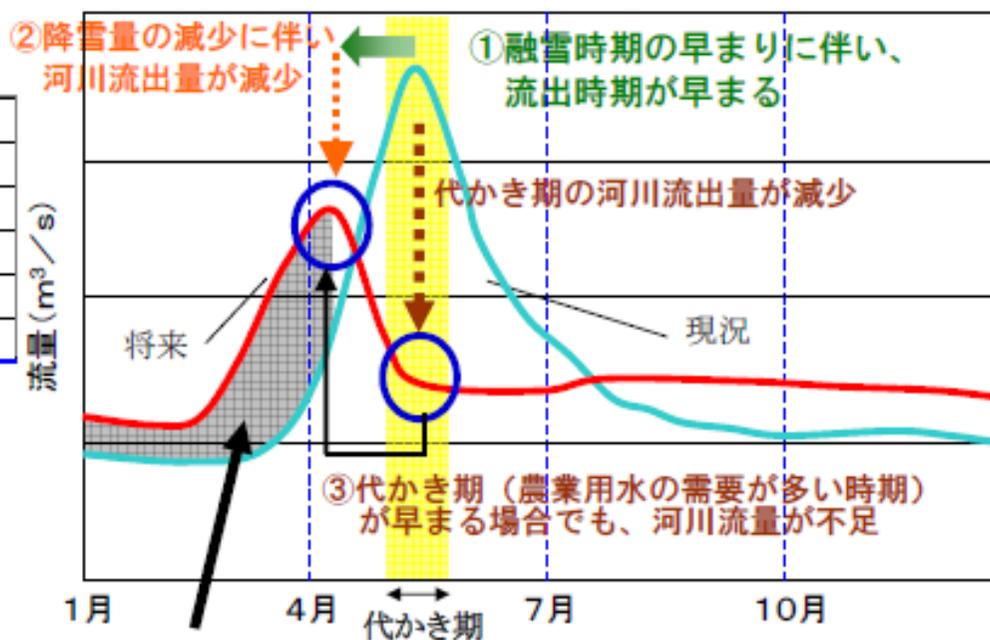
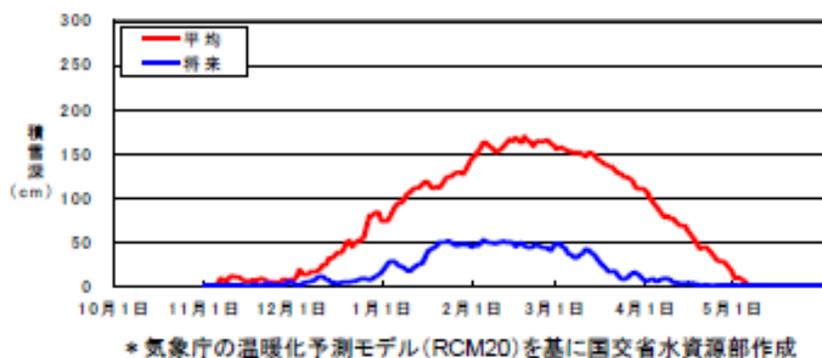
参考文献: 国土交通省: 平成19年度 国土交通白書、国土交通省ホームページ、  
<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/index.html>、2008

# 地球温暖化 ② 渇水危険性の増大

利根川上流域では、  
**積雪深が大幅に減少する可能性**  
これに伴い、融雪時期や春先の  
流出量の減少を生じる

温暖化に伴い、  
①融雪時期の早まり、②降雪量の減少  
により、**河川の流出の形態が変化し、**  
③代かき期の早まり  
により、**年間の水需要パターンの変化が予想**  
**され、水利用への深刻な影響が予想される**

温暖化が進むことによる、  
100年後の積雪深の変化(藤原)



無効放流の発生!  
ダムが満水の場合、無効放流(有効に利用できない放流)となる

(出典)平成19年版 日本の水資源 国土交通省 土地・水資源局